

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 航空宇宙工学コース 教授 山田 裕一

取組状況	
教育	<p>1. 3次元CADを用いた設計 学生一人ひとりが目的・仕様を考え、3次元CADを用いた設計を行った。</p> <p>2. CAEを用いた設計 高学年においては、実際の設計に必要な解析シミュレーションを用いた設計を行った。</p> <p>3. 工学的な情報処理 ゼミや卒業研究で必要となる、エクセルでの工学的な計算、グラフの作成、ワードでの図や数式の入った文書作成を行った。</p> <p>4. CADシステムの更新 5年ぶりにCADシステムの更新を行い、最新のOS、ソフトウェアを用いたシステムを構築した。</p>
研究	<p>共同で論文発表 簡素なブレードピッチ制御機構を持つ直線翼垂直軸風車の開発 日本流体力学会, ながれVol37, pp.291-299.</p>
社会貢献	<p>1. 流体解析についての技術相談 製品開発における流体の挙動解析についての相談, 解析を行った。</p>